

弘教寺



第59号

発行所

〒370-0131
伊勢崎市境米岡二七九-二
浄土真宗本願寺派弘教寺
寺報編集部
電話 0二七〇(七四)〇五七三



寺のQR

真実であること

弘教寺住職 中山英昭

今年は昭和百年の年になるようです。昭和生まれの私にとって、その七十余年を生きてきて世の中の移り変わりに追いつけない焦りを感じます。

昨年渋沢栄一さんをはじめとして新紙幣が発行されました。お隣の深谷市では渋沢栄一誕生の地ということもあり、盛り上がりを見せております。しかし、世の中はキャッシュレス化が一層進んで来ています。近所の本屋さんもセルフレジが進み、大手量販店などでも同様な傾向で、セルフレジだけになってゆくようです。その度に戸惑うのは、昭和生まれの私たち世代の特性なのかと思います。

政府はキャッシュレス化を進め、今年を目標を40%としているようです。セルフレジにしても、キャッシュレス化にしても人件費の増加と労働力不足の中で、コスト削減の結果とみれば仕方ないことなのでしょう。

時代が移り変わったと言えはそれまでですが、ペーパーレス化も進み、メールのやり取りが出来ないと日常が動かない今日です。



メジャーリーグで活躍している大谷選手の間C M契約料が百五十億円を超えと言われていると。著名な方

人類は言葉を使って進化してきました。やがて文字が生まれ、一層経済や文化を進化発展させることができました。言葉や文字は、人類が「真実」を伝えるための英知であったはずですが、いつの間にか虚偽の情報も共有することにもなります。ネット犯罪、電話詐欺が日々マスコミを賑わせております。特に許せないのは社会的弱者である高齢者を対象にしていることです。

高齢者の傾向として、「信じたい」「信じること」を元に情報を見てしまいます。以前婦人会の会員の方が「Aと言う俳優さんが・・という事件をおこしたそうだ。」と自慢そうに話されました。何処で聞きましたかと言うと「テレビで言っていました。」と言うのです。情報を疑うことなく「真実」とみてしまう怖さが有ります。企業がCMに如何に金と時間をかけているかでも分かると思います。

や好感の持てる方を起用することはその効果から当然のことでしょう。

最近ミャンマーとタイの国境で国際的な詐欺組織が検挙されました。一万人以上の人たちが隔離され強制的に電話詐欺にかかわっていたようです。「真実」を伝えるべき言葉や文字が巧妙に人をだます手立てとなってしまうことは残念ではありません。

『歎異抄』後序の文には「火宅無常の世界は、よろずのこと、みなもてそらごとたわごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておわします」と言うお言葉が示されております。世間のものごとはすべてが「真実」とはかぎらないということなのでしょう。阿弥陀様が与えて下さった念仏の世界にのみたしかな「真実」があるということなのです。

最近の話題に生成AIが有ります。やがてはこの人工知能(AI)をツール(道具・手段)として活用が期待されておりますが、便利さの中に、大きな不安要素があります。あくまでもツールであって「真実」ではないのです。ましてや情報を操作することでの様な方向に行くかが心配です。

電話やメールなどで詐欺事件が横行する中で、生成AIの活用が良い方向に向かうことを願うばかりです。



電話詐欺

「親鸞聖人御絵像」進納ご報告

昨年の暮れ一幅の「親鸞聖人絵像」が送られて参りました。徳島市在住の仏画絵師である江本象岳先生からお送り頂いたものでした。

江本先生は若い頃、一昨年九月に亡くなられた瀬越憲先生のお父様(当時画家でありました)に師事し、瀬越先生とは一時期一緒に生活を送り、兄弟のように過ごされていたようです。

瀬越先生が亡くなられたことを悼み、関わりの深い私どもの弘教寺に追悼の想いを込めて、ご奉納下さったことでした。

本年元日より参拝の門信徒の皆様にご披露させていただくため本堂内陣の一面に飾らせていただきました。正月に参拝された門信徒の皆様はご覧になられたかと思ひます。

今後は弘教寺の寺宝として大切にしたいと思っております。今年二月の瀬越先生の奥様の一周忌法要には、あきる野市の霊園の方に持参して法要の折に奉納し、ご子息様お二人にも披露させていただきました。

今後は寺の法要の際、お出かけいただく住職方にも客間の床の間に掛けてご覧いただく予定です。



親鸞聖人御絵像



弘教寺 本堂内陣

ご覧になりたい方がおられましたらお申し出下さい。多くの門信徒の皆様にご覧いただきたく思っております。

住職

※瀬越憲先生について

チェリストとして生涯活躍されました。オーストラリアに留学して後、ドイツで演奏活動をされ、帰国後に群馬交響楽団に入団し、中心的に活動。弘教寺には40年近く『お寺でコンサート』を主催し、多くのファンに感動を与えて下さいました。令和5年9月に逝去(往生)されました。

群馬組 親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

この度のご法要は五十年毎に行われ、本山(西本願寺)で始まり築地本願寺が続きます。群馬組では12月22日高崎市の覺法寺でお迎えができました。

「親鸞聖人がこの世にお生まれになり、浄土真宗のみ教えをお開きになったことを慶び、お讃えするご法要です。」と本願寺新報にあります。

ご法要は、東京教区教務所長の東森尚人様のご挨拶で始まります。続いて、築地本願寺雅楽会が雅楽を演奏し、その会のご指導をされている宮内庁式部職楽部の岩波孝昌先生が舞楽「蘭陵王」を舞われ、このご法要をお荘厳していただき、大変貴重なご縁となりました。続く法要は、組内住職方により『新制 御本典作法第二種』で厳肅にとりおこなわれました。記念法話を藤澤 信照師(本願寺派布教使)によりいただき、本堂が満席での慶讃法要は無事に終りました。

橋本勝

蘭陵王の勇壮な仮面は言うまでもなく、色鮮やかな朱色や所々寒色を取り入れた意匠、唐楽ならではの荘厳かつ神秘的な一体感のある演奏が見どころです。また、流れるような歩幅の小さい足の動き方から、力強い腿から大きく動かし全体の動きまで、左右前後を自由に動き回るといふのに体のブレがなく、なおかつ会場全体を最初から最後まで通して見たときに、蘭陵王の動きのシンメトリーのような構成は、えも言えぬ美しさでした。

深津音羽



舞楽「蘭陵王」

もちつき会

年末の土曜日、いこいの部屋前の広場で、住職・坊守・子供達とその家族にスタッフの皆さん、七十名程の集まりです。

寺のもちつきの指南役と私が認める小林の姿がありません。早い回復を待ちます。

小学生の多い子供達と一緒にもちつきです。

子供達、住職の話聞いて始まりです。私達裏方のお手伝いは、体と足

を使って薪を利用して、お米の炊き出しと釜使用、臼と杵

の検分などで支えました。

もちつきが楽しい思い出

になるように

「自分たちでついたもち」を

食べる経験。

アankoや大根おろしを添えて腹いっぱい私も腹いっぱい満足です。帰りにおみやげつき。

子供頃は、自宅で年末正月料理として隣人共同で、ついたことを思い出します。

今はスーパーでの購入で済ませになり変わりました。

寺のもちつき会楽しかった。

坊守おめでとうもちつき会 楽しく帰ります。

徳丸照明



みんなの花まつり

四月六日、「みんなの花まつり」に大人子供あわせて十八人が来てくれました。花まつりは、お釈迦さまのご生誕をお祝いする仏教の行事で、華やかな「花御堂」に安置された誕生仏に甘茶をかけてお祝います。

開会のあいさつ、おつとめをして、花まつりの法話を聞きます。その次は、紙芝居「お釈迦さま後編」です。後半生のお話なので、子供達には少し難しかったかもしれませんが最後までしっかりと聞いてくれました。そのあとは花まつりの歌を歌ってから、甘茶かけです。かけ方のお手本を見てから順番に誕生仏に甘茶をかけていきました。その次は、華葩ゲームをしました。

このゲームは、法要で使われる蓮の花びらをかたどった紙片「華葩」を床の円の中に落とすシンブルなものです。しかし、不規則にひらひらと落ちていくので、思い通りに落とすのはなかなか難しく、みんな角度や向きを工夫していました。ゲームのあとは、カレー会食です。甘茶を飲み、カレーと仏教のお話を聞き、カレーライスを食べました。普段飲まない甘茶の不思議な風味に子供たちは驚いているようでした。おいしいカレーを食べたあとはお土産のお菓子セットをも

らって閉会となりました。

花まつりは、今の子供たちには馴染みのない行事なので心配していましたが、それでも何人もの子供たちが来てくれたのでよかったです。来年もたくさんの子供たちが来てくれることを願います。

中山大悟



端切れのネックレス作り



ご自宅にいらなくなった布の切れ端はありませんか。何種類かの端切れを短冊に切って、紐に等間隔にくるくる巻き付けて

ボンドで固定していくだけで、お洒落なネックレスができます。

① 大小の布をそれぞれ、縦の中心に向かつて折り、ボンドで張り付けて布のテープを7枚作る。② 大の布テープを紐の中心にボンドで張り付けて巻いていく。③ 隣同士の布の間隔を1cmくらい開けて、小の布を左右3枚ずつ巻き付ける。④ 最後は長さが自由になるように紐を結んで出来上がり！完成したネックレスが胸を飾って笑顔になること請け合いです。仏婦手芸教室より 坊守

＜材料・用具＞		
布(大)	6×17cm	1枚
(小)	4.5×11cm	6枚
紐	70cm	1本
ボンド・鉄・つまようじ		

弘教寺ゴルフコンペ報告

寺の39回ゴルフコンペが3月17日、玉村ゴルフ場で20名の参加者で競いました。終了後の親睦表彰式で、私 徳丸が優勝者だと呼び出されました。初めての優勝で、カップにリボンをつけ、優勝者の仲間入りできました。うれしいことです。寺コンペも先輩方の出場見送りで伊部、塩原、徳丸が年長組になりました。赤マークからのティショットです。楽しみな寺ゴルフ、今後も体を動かし練習



励みます。 徳丸照明

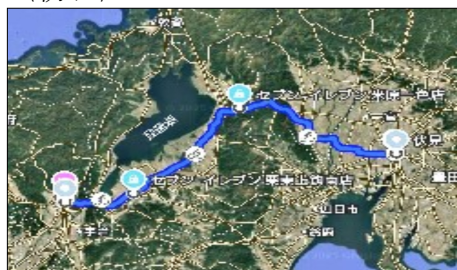
京都く群馬ぶらり自転車旅（5）

五日目、前日の雨も上がり快晴の静岡を出発した。はじめに向かったのは、弘教寺のコーラスサークル、ひまわりの皆さんがコーラスの関係でよくお世話になっている教覚寺というお寺で、当日は少年会（子供会）が開かれていた。少年会を見学した後、教覚寺の歴史についてもお話を聞かせていただいた。親鸞聖人や聖徳太子の像、「法縁廟」という合葬墓について等、ここでしか聞くことのできない話が盛りだくさんで、一時間弱の短い時間でありながらも大変有意義に過ごすことができた。

改めて、十一時頃沼津に向けて出発。この日は静岡市から沼津市までの約五十キロという、旅の中で特に短い道程だったため、短時間の走行で済んだ。ただ、これまでに蓄積された足への疲労は痛みとなって私の膝を苦しめた。そのため、何とか疲労を抜くために夜にはマッサージを予約し、夕飯には静岡の当地チェーン店である『さわやか』へ向かった。ここは、超人気店であり、今回は三時間待ちでの入店となった。しかし待った甲斐がある味、量、サービスだった。

マッサージも受けて少し疲労は抜けたものの、道半ばであるし、次は山越えが待っている。改めて気合を入れなおす一日となった。

〈初日〉 西本願寺～名古屋市



〈二日目〉

名古屋市内

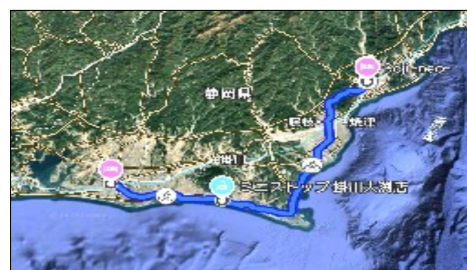


教覚寺様参拝

〈三日目〉 名古屋市～浜松市

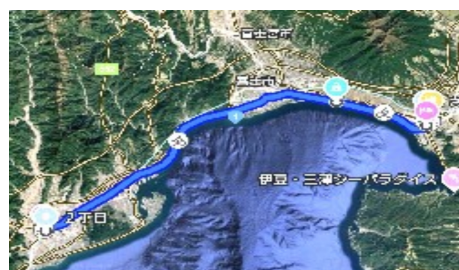


〈四日目〉 浜松市～静岡市



中山真悟

〈五日目〉 静岡市～沼津市



編集後記

この欄は、編集委員が連番で担当し今回は私橋本勝です。「寺報」も皆さまの協力により59号の発行となりました。ありがたいことです。私は「寺報」のお手伝いに長年携わってきましたが、最近のテレビ・新聞の情報で気づかされたことです。

私達人間は残念ながら自分中心に判断し、損得を考えた生き方しかできませんが、今の世間には自己中心がひどすぎて残念でないやりのある「生き方の大切さを伝えたい」と思います。

「南無阿弥陀仏」

◆ 行事予定 ◆ 令和7年4月 ～ 令和7年7月

月別	弘教寺の行事予定		教区・群馬組の行事予定	
4月	6日(日)	花まつり		
	20日(日)	総代・世話人会	8日(火)	組内会
	21日(月)	婦人会例会・花見茶会		
	29日(火)	永代教法要		
5月			未定	教区仏壮連盟総会
	未定	壮年会総会	14日(水)	組会
	22日(木)	婦人会総会		
6月			3日(火)	群真会コンペ
	12日(木)	弘教寺ゴルフコンペ	未定	教区仏婦連盟総会
	未定	歌声喫茶		
7月	19日(木)	婦人会例会	25日(水)	音御堂at築地本願寺
	未定	壮年会例会		
	24日(木)	婦人会例会		